



▲眼科医長 土屋 亜沙美

子どもの斜視

斜視は痛みを伴わないため、小児特に乳幼児では自覚がないか、あっても訴えません。そんな斜視についてお話しします。

斜視とは

物を見ようとするとときに、片眼は正面を向いていても、もう片眼が違う方向を見てしまっている状態を斜視といいます。斜視の原因は眼を動かす筋肉や神経の異常によるもの、遠視によるもの、眼の病気によるもの、脳の病気によるもの、全身の病気によるものなどがあります。斜視の原因検索のために全身検査を行うったりMRIなどの検査を行うこともあります。

斜視の種類

●外斜視

片眼が正面を見ていて、もう片眼が外側を向いてしまっている状態を外斜

視といいます。常に片眼が外を向いているものを「恒常性外斜視」、両眼とも正面を向いているときもありますが、ボーっとした時や、疲れた時などに外に向いてしまうものを「間歇性外斜視」といいます。大人でも眠かったりすると目の位置がずれることがあります。子どもでも寝起きなどに少しずれる程度は問題ありません。

●内斜視

片眼が正面を見ていて、もう片眼が内側を向いてしまっている状態を内斜視といいます。遠視の眼鏡をかけると眼位のずれがなくなる「調節性内斜視」や、生後6ヶ月以内に発症する「乳児内斜視」、ある日突然発症する「急性内斜視」、眼位のよい日と悪い日を繰り返す「周期性内斜視」などがあります。

子どもの視力の発達時期に眼の位置が常になされた状態が続くと、ずれている眼で見る像がぼやけて見えるため、そちらの眼を使わなくなり、視力の発達が妨げられて、弱視を引き起こすので注意が必要です。

●上斜視・下斜視

片方の眼は正面を見ていますが、もう片方の眼が、上になってしまったり下になってしまったりするものを上斜視、下になってしまったりするものを下斜視といいます。

●偽斜視

乳幼児の鼻の根元が低くて広いため、本当はまっすぐなのに内斜視のように見えることがあります。これは斜視ではありません。

斜視の治療

斜視治療は、種類や年齢などによって異なりますが、まず大切なのは両眼の視力をよくすることです。斜視でずれているほうの眼が弱視（眼鏡をかけても視力が上がらない状態）になっていることがあり、これを改善してあげることが大切です。

1、屈折矯正・・・遠視が原因である調節性内斜視は、正確に屈折度数を測定し眼鏡を装用することで眼位がまっすぐに近づきます。眼鏡を装用しているときの眼位は良好ですが、眼鏡をはずすと内斜視になります。

2、手術・・・視力の次は眼の位置をまっすぐにしてあげることです。眼を動かす筋肉を緩めたり、縮めたりして眼の位置がまっすぐになるようにします。

小児は目の見えにくさや、眼の位置のずれを自分から訴えることはほとんどありません。周りの大人から見て気になる症状があれば、早めに眼科に受診することをお勧めします。

◆お知らせ

市民病院助産師、看護師募集

勤務

- 平成27年4月1日〜
- 病棟勤務 3交替と2交替
- 外来・手術室勤務 2交替

※資格取得者は平成26年7月（昭和39年7月2日以降に生まれた方）と平成26年10月（昭和39年10月2日以降に生まれた方）または平成27年1月（昭和40年1月2日以降に生まれた方）の採用も可能です。

※6月7日(出)、7月5日(出)、8月5日(出)、8月20日(出)、9月以降の毎月5日に同様の試験あり。

対象 次のすべてを満たす方

- 助産師または看護師資格取得者、平成27年3月助産師または看護師資格取得見込者
- 昭和40年4月2日以降に生まれた方
- 人員 80人程度

試験

- 内容 適性検査、面接
- とき 5月10日(出)午前8時30分〜
- ところ 市民病院8階講堂
- 申込・問合先 5月2日(金)（必着）までに、履歴書（写真貼付）、卒業証明書または卒業見込証明書、資格免許証の写し（資格取得者のみ）を郵送または直接病院総務課（〒4805・8520住所不要）

☎76・4131